

三島工業団地ニュース

No.3 令和4年5月15日

Vol.44 三島工業団地協同組合

《 静岡県の景気概況 》






ロシアによるウクライナ侵攻は世界経済の先行き不安を増長させ、様々な原材料価格の高騰を誘発。コロナウイルスについても蔓延防止等重点措置は3月21日に解除されたものの変異株の出現等で第7波への懸念も高まっている。燃料や食材などの価格高騰により消費者物価は上昇しており景気回復が憂慮される状況にある。

以下は静岡経済研究所が発表した県内主要産業の「4～6月期景況見通し調査」の概要です。

2022年4～6月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

業種	業界天気		売上高 (前年同期比伸び率)	主要産業の見通し
	現況 (1-3月)	見通し (4-6月)		
製紙	 → 	→	衛生用紙は業務用の回復に期待、板紙は前年並みで推移	
食品・飲料	 → 	→	原材料価格やエネルギー価格の上昇で、厳しい収益環境に	
工作機械	 → 	↗	企業の旺盛な設備投資意欲のもと、内・外需ともに好調に推移	
民生用電器部品	 → 	↘	完成品メーカーは増産計画だが、中国製部品の調達に懸念材料	
自動車部品	 → 	→	半導体不足などの影響続き、生産量は低水準にとどまる見通し	
二輪車部品	 → 	→	生産量は前年並みで推移する見通しだが、下振れ懸念は強い	
建設	 → 	↘	公共工事は低調、民間工事は前年水準で推移する見通し	
住宅	 → 	↘	駆け込み需要の反動減が続き、前年を下回る見通し	
大型小売店	 → 	→	まん延防止等重点措置の解除で、百貨店は回復	
自動車販売	 → 	→	供給不足が続き、販売台数は前年並みにとどまる	
物流	 → 	→	輸送用機器は低調だが、消費関連が底堅く推移	
情報サービス	 → 	↗	官民ともに需要は底堅く、安定した事業環境が続く	
人材派遣	 → 	→	自治体向け派遣需要が増加、製造業は厳しい状況が続く	
観光・レジャー	 → 	↗	支援策の後押しはあるが、ガソリン価格の高止まりがネックに	
外食	 → 	↗	外出自粛の緩和などで売上高は前年比増	

表の見方

業界天気		売上高	
 好調	 低調	↗ 非常に増加(+10%以上)	
 順調	 不調	↗ 増加(+3~+9%)	
 普通		→ 横ばい(+2~△2%)	
		↘ 減少(△3~△9%)	
		↘ 非常に減少(△10%以上)	